（様式第５号の３困）（R5.4）

**父子家庭の父であること及び児童扶養手当の支給を受けていたことの申立書**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  | 生年月日  年　　月　　日 | 現住所 |
| 父子家庭の父である理由 | １～7いずれかの項目に該当する。　　　　　　　　　　　　　　（　はい　・　いいえ　）  １．妻(内縁も含む。以下同じ)と死別し、現在は結婚していないため。  ２．妻と離婚し、現在は結婚していないため。  ３．妻の生死が不明であるため。  ４．妻から遺棄されている（暴力を受ける等）ため。  ５．妻が海外にあるため、妻の扶養を受けることができないため。  ６．妻が長期にわたって労働能力を喪失しているため。  ７．その他  上記の事由に該当することとなった年月日　　　　　　年　　　月　　　日 | | |
| 児童扶養手当の受給状況 | 雇入れ日時点において、児童扶養手当法に基づく児童扶養手当を受給していた。  ［　はい　／　いいえ　］ | | |
| 扶養する子等の状況 | |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 氏名 | 続柄 | 生年月日 | 年齢 | 職業 | 同居・別居  の区別 | 廃疾の状況 | |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |   ※雇入れ日現在、扶養している子又は配偶者について記入してください。 | | |
| 上記のとおり相違ありません。  　　　　　　　　年　　　月　　　日  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　本人氏名  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（親族等の氏名） | | | |

※　世帯全員の住民票（写し）が１部必要となる場合があります。また、別途確認書類が必要となる場合があります。

※　この申立書は、他の父子家庭の父であることを証明する書類の提出が困難な場合に限られます。

※　この申立書は、特定求職者雇用開発助成金（特定就職困難者コース又は成長分野等人材確保・育成コース）の支給に係る審査にのみ使用し、他の用途に使用することはありません。